

読書推進活動に向けた取組

1. 学校の概要

- ①〒964-0904 福島県二本松市郭内 2-347
- ②学級数 12 クラス 生徒数 445人(令和6年5月1日現在)
- ③学校図書館の蔵書数 36,555 冊(令和6年5月1日現在)

2. 取組内容

- ①生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館環境の一層の充実に向けた取組

・特設コーナーの設置

次のコーナーを設置している。

進路に関する資料／小論文・レポート参考図書／医療・看護・保育／SDGsコーナー／東日本大震災関連本

・書架見出しの設置

本校図書館は、NDCの並びよりも、生徒がよく利用するものをまとめて配架している箇所が多いため、わかりやすいように、「食の本」や「こころの病気」など、書架の見出しを付けている。まとめ配架で本を移動した元の NDC の場所には、移動先の表示を貼っている。

・図書館だよりの発行

毎月図書だよりを作成し、おすすめの図書や新着本、関連図書などの紹介をしている。

・図書委員会による本の紹介

朝の読書週間や長期休みなどに合わせ、図書委員のおすすめ本をPOPにし、展示・貸出ししている。図書館に入ってすぐの場所に展示しているため、生徒たちによく見られている。

・図書館行事の実施

令和6年度の校内文化祭では、図書委員会として次の企画を行った。

図書委員のお気に入りはこちらだ！2024……図書委員がおすすめする本を、POP と一緒に展示した。



・4校合同 POP 展の実施

読書週間期間に合わせ、二本実業高校本校舎、二本松実業高校安達東校舎、本宮高校、本校の学校図書館が合同で、生徒によるおすすめの本の展示を開催した。また、二本松市立図書館でも一部展示をしていただいた。

②学校における読書を通じた読書週間の定着を図る取組

・朝の読書の実施

年度計画では、5、7、12、2月の計4回の期間に数日ずつ実施。朝のSHR前の10分間に行っている。

また令和3年度から、毎回朝の読書期間の初日の朝に、「出張貸出」を実施している。各学年の廊下で、担当の図書委員が学校図書館の本25冊程度を並べ、貸出の対応をするというもの。令和5年度は4回実施して計138冊、今年度は3回実施までで148冊の貸出があった。

③読書活動の質の向上へ向けた取組

・授業との連携

1、2学年国語で、長期休み前に、新書や自分の進路に関する本を読むという課題が出されたため、学校図書館として、個人に合わせた本の紹介をした。また進路に関する本の受入れを強化した。

1、2学年のSDGs探究学習では、生徒が学校図書館で資料を探したり調べたりしながら学習を進めていった。

その他、読み聞かせ講座の資料準備(保育)や、教員が授業で使用する資料提供なども常時行っている。

④その他、読書活動推進へ向けた取組

・公共図書館との連携

本校図書館の蔵書は限られているため、授業、進路などで必要な資料を、市立図書館や県立図書館から借受することも多い。

今年度は、前述の4校合同 POP 展で、一部展示を行っていただくなど、学校図書館活動への理解と協力を頂いている。